

【演習1】

一次アセスメント票

受付No.	作成者氏名	作成日
0001	藤川 雄一	2018年11月18日

ふりがな	ちょうしゅう げんいちろう	性別	男性	住所	(〒000-0000) 東京都〇〇市△▽ヶ丘1-2-3 都営住宅501
氏名	長州 源一郎	年齢	47 歳	連絡先	090-0000-0000
生年月日	1971年11月11日				
本人の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと 「仕事を続けたいです。」「プラレールや電車が好きです。」 「(将来と言われても)よくわかりません。」「(今の生活は)このままでいいです。」					
家族の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと 「私たちがいなくても、姉に迷惑をかけず暮らせるようになってほしい。」 「(本人が大柄なため)最近、執拗に何かを要求されると怖い。」					
希望する一日の流れ					
本人	起床	通勤	仕事	通勤	夕食
平日	6	9	12	15	18
休日	6	9	12	15	18
生活状況[普通の1日の流れ]					
本人	起床	通勤	仕事	通勤	夕食
平日	6	9	12	15	18
休日	6	9	12	15	18
[その他の1日の生活の流れ] ※いくつかの1日の生活があれば、別紙に記入					
本人					
	6	9	12	15	18
	21	24	3		
本人の概要					
生活歴(病歴含む)	〇〇市立 〇小学校 入学(普通級)	特殊 学級へ	〇〇市立 〇中学校 (特殊学級)	中学卒業後、 部品製作工場に就職	工場の海外移転による 手帳取得・就労移行利用・年金受給 現在の会社に就職
	6	10	12	15	42
					43
					45
[ジェノグラム]			[エコマップ]		

利用者の状況

項 目	状況・意思			支援者の気づき	
	現状	本人の希望	本人の選好	記入者	記入者以外 (専門的アセスメントを含む)

1 生活基盤・日常生活に関する領域

住環境	高齢世帯向け都営住宅(本人単身では居住できない)	「10年くらい前に近くの公団から引っ越ししました。」 「〇〇市は良いですね。」	慣れているところでは落ち着いて自分でできることが多い。	東京郊外で新宿まで電車で40分のニュータウン。父母と同世代の住人が多い。昔からの商店街やスーパーがある。	
経済環境	月給手取 100,000円 障害厚生年金受給貯金もある様子 父母とも共済年金			経済的には余裕があるほうだが、使いすぎてしまう場合がある様子。	

2 社会参加に関する領域（教育、就労を含む）

趣味・旅行・レクリエーション	休みの日はプラレールの電車を走らせに行く。 本物の電車も好きで、よく電車に乗って出かける。 前の職場の人達と年に数回飲み会や旅行に出かける。	「プラレールを走らせるおもちゃ屋があるんですよ。」 「電車に乗りに行く旅が好きです。」 「やっぱりJRですね。」 「家ではテレビと雑誌です。」	テレビはBSの音楽番組や旅行番組をよく見ている様子。		「昔から電車は好きですね。好きなことはしつこいくらい調べて話しかけてくるんですよ。」 「収集癖があると思います。物は捨てません。」 (姉)
当事者団体の活動	なし				
自治会への参加	なし				
その他各種社会的活動					
就労	現在は、倉庫のピッキングの仕事をしている。	「仕事はずっと続けたいです。」			自分の役割をきちんとできている。新しいことを覚えるのはとてもゆっくり。(会社) 以前の転職の際に職業評価に関わった。当時は自己肯定感が下がった状態であったが、それでも集中力や課題を完遂しようとする力があつた。定型的な作業については企業で十分就労できる力がある。(職業リハOT)

3 コミュニケーションや意思決定、社会生活技能に関する領域

意思表示	うまく言えないこともあるが、はっきり自分の意思を伝えようとする。 わからないことはわからないと言う。				
意思決定					
他者からの意思伝達の理解	言葉の場合、わかりやすい言葉を選ぶ必要がある。 独特の言葉のいいまわしをよく使う。				

コミュニケーションツールの使用(電話、FAX、パソコン、タブレット、インターネット)	スマートフォンを持っている。通話やメール、電車関連などの情報検索に利用している。電話は苦手。出なかったり、用件だけですぐ切る。				
対人関係	慣れている人とはうまくやりとりできる。言葉でのコミュニケーションは得意ではない。	「(言われていることが)わからないことがよくあります」「友だちは欲しいけど、たまに疲れま	やさしく接してくれる年上を好む。厳しい人や怖い人は苦手。		
屋外移動やその手段(長距離、遠距離)	何度か行ったところのあるところには自力でいける。	「方向音痴なんですよ。」	はっきりとは言わないが、仕事帰りの寄り道が楽しみな様子。		
金銭管理	必要になったときに母から必要額をもらう。日々のお金はSuica(定期とオートチャージ)。	「お札を出しておつりをもらいます。」		基本はオートチャージの交通系ICカードを多用。必要な時に必要な額だけもらうため、枠組みを理解できていない。	金銭管理は難しい(以前の就労移行支援事業所)2桁の演算や繰上りなどのある計算は難しい。

4 日常生活に関する領域

身辺のこと	ADLは基本的に自立している。				
調理	炊飯や簡単なフライパン料理をすることがある。自炊をすれば支援が必要だが、ある程度は自分でできる。	「作ることもあります。でも大変です。」	親がいない時調理することもある。基本的には外食やお惣菜。		
食事	たくさん食べる。ごはんはお替り3杯。	「ひとりだと好きなもの食べちゃいますね」	こってりした食べものジュース	出されたものは何でも食べるが、特にこってりした味が濃いものが好き。	
入浴		「お風呂が好きです。毎日入ります。」			お湯を使いすぎることを母は心配に思っている。
清掃・整理整頓	自分の部屋はきちんと整理されており、他人にはあまり触れられたくない。	「きれいですか？そうかな？」「自分の部屋以外の掃除はしません。」			
洗濯	自分でしたことはない。				
書類整理・事務手続き	難しい漢字は苦手。かみくだいて説明すると理解できる。	「難しい書類はよくわかりません。手伝ってくれる人がほしいです。」	わからない書類などは父母に渡す。		
買い物	自分の必要なものは自分で買うことができる。	「電車にはお金使っちゃいますね」「あとは食べ物です。」「雑誌は決まったものを買います。」			

5 健康に関する領域

体力	元気で体格がいい。身長180cm 体重100kg				
----	--------------------------	--	--	--	--

健康状態	40過ぎから健康診断は毎年再検査。血圧が150を超える。	「大丈夫です。」			生活習慣病の傾向はみられるものの、治療や生活上の制限が必要な状況ではない。ただし、ひとり暮らしをするのであれば、偏った食生活にならないよう配慮してもらいたいが、一般的な成人男性であれば誰も追うリスク程度である。(健康診断時の内科医師所見)
医療機関利用状況	定期受診なし	「大丈夫です。」	病院があまり好きでない様子。		家族は心配しているが、うるさく言うと本人が怒り出すので黙っている。(就業・生活支援センター)
医療費・健康保険	社保加入				
障害	療育手帳B 自閉傾向あり				以前の転職の際、職業評価の一環として心理検査を行った。知能検査はWAISではなくWISCにて検査を実施。全IQは55。若干言語性・視覚優位。(職リハCP)

6 家族支援に関する領域

父母	まだ元気だが、持病があり、気力体力とも衰えがある。本人の願うことはだいたい叶えてきた。父母とも共働きの元公務員。定年退職後はシルバー人材センターで働いたり、地域活動に参加していたが最近はおんびり暮らししている。	「ほんとはお父さんお母さんとずっと暮らしたい。」 「でも沖縄は…。仕事辞めたくないです。」	親を大切だと思うような素振りはいたるところにみられる。	現在のところ介護は必要ない。 本人を思う気持ちが強く、先行きの不安がある。	
姉	隣県在住。夫と娘の3人暮らし。夫婦とも公務員。月に一度家族で家へ来る。	「お姉さんとはたまに会います。」 「お姉さんは怒るとこわいです。」		兄弟仲はごく普通。会えば話すが、共通の話題があまりないので長くは話さない。	
姪	大学3年生。鉄道好きで、本人と話が合う。子どもの頃から本人へおねだりするのが上手。		姪と会うのを楽しみにしている。		

対応者所見のまとめ

(事例の概要を参照)